



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社ワイヤレスゲート 上場取引所 東
コード番号 9419 URL <https://www.wirelessgate.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役CEO （氏名）成田 徹
問合せ先責任者 （役職名）取締役COO兼CFO （氏名）原田 実 TEL 03-6433-2045
半期報告書提出予定日 2026年8月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	5,449	—	175	—	173	—	113	—
2025年12月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2026年12月期中間期 113百万円（－％） 2025年12月期中間期 ー百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	10.42	10.42
2025年12月期中間期	—	—

（注）当社は、2025年12月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期中間期の数値及び対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	4,413	1,710	38.7
2025年12月期	4,412	1,596	36.1

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 1,708百万円 2025年12月期 1,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	31.8	430	151.3	420	143.0	250	△11.1	23.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期中間期	10,938,574株	2025年12月期	10,938,574株
--------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年12月期中間期	58,000株	2025年12月期	58,000株
--------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年12月期中間期	10,880,574株	2025年12月期中間期	10,885,574株
--------------	-------------	--------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 4 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、前第4四半期連結会計期間より連結決算に移行いたしました。そのため、前中間連結会計期間に連結損益及び包括利益計算書、連結キャッシュ・フロー計算書において子会社の損益を連結していないことから、前年同期との比較分析は行っておりません。

当中間連結会計期間(2026年1月1日～2026年6月30日)におけるわが国経済は、訪日需要の底堅い推移を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、為替相場の変動、物価上昇の影響、人手不足を背景とした人件費の上昇等が続いており、経営環境の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、当社では引き続き「原価改善」及び「営業チャネルの開拓」などによる収益基盤の強化を推進し、経営効率の向上を図ってまいりました。主力のWiMAXサービスにおいては、当中間連結会計期間も継続的な営業活動を実施した結果、当中間連結会計期間末契約数は前年同期比100.6%となりました。引き続き、累計契約数の回復・拡大を重要な課題と認識し、取り組みを強化してまいります。

また、WiMAXを補完する新商品の展開につきましては、PHILIPS製マウス及びリカバリーウェア等の新カテゴリー商品の拡販に注力するとともに、新たな商材の選定を進めており、収益の安定化と再成長に向けた取り組みを継続しております。さらに周辺商品として「ワイヤレスゲートWi-Fi+スマホ保険付き/PC保険付き」、「ウイルスバスター」などの契約(販売)は前年実績と同水準を維持いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、5,449,550千円となりました。利益につきましては、営業利益175,638千円、経常利益173,998千円、親会社株主に帰属する中間純利益113,384千円となりました。

当社グループは、Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業の単一セグメントであります。売上高につきましては区分して記載しており、それぞれの事業ごとの取組みは次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、主力であるWi-Fiサービスを基盤としつつ、今後はグローバルeSIMサービスを成長の中核にする方針を明確化するため、従来「ワイヤレス・ブロードバンド関連事業」としていた報告セグメントの名称を「Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業」に変更しております。また、前第4四半期連結会計期間において株式会社FREEDiVEを完全子会社化したことにより、当社のワイヤレス・リモートサービス事業と株式会社FREEDiVEのモバイルWiFiサービス事業に売上高の区分を変更しております。

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)	増減額	増減率 (%)
Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業	5,449,550	—	—
株式会社ワイヤレスゲート	4,462,605	—	—
株式会社FREEDiVE	986,945	—	—

(Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業)

当中間連結会計期間における売上高は5,449,550千円となりました。

・株式会社ワイヤレスゲート

ワイヤレス・リモートサービス事業の売上高の約8割を占めるWiMAXについては、ホームルーター普及による市場拡大を機会と捉えた営業活動の強化、代理店との協業深化、及び直販ECサイトにて販売を実施することにより多様化するお客様のニーズに対応する購入窓口の整備を強化します。引き続き販売代理店との提携強化を進め、モバイルルーター及びホームルーターの需要獲得、さらに「ワイヤレスゲートWi-Fi+スマホ保険付き/PC保険付き」、「ウイルスバスター」、「ピカプロDX」などの周辺サービスの販売拡大や新商品開拓を通じて顧客単価の拡大に取り組んでまいります。

この結果、株式会社ワイヤレスゲートの当中間連結会計期間における売上高は4,462,605千円となりました。

・株式会社FREEDiVE

グループ会社である株式会社FREEDiVEにおいて、「MUGEN WiFi」、「AIR-WiFi」及び「5G CONNECT」のモバイルWiFiサービスを展開しております。いずれのサービスもデジタルマーケティングを通じたEC販売を主軸とし、多様化するお客様のニーズをタイムリーに捉えマーケティングを実施することにより、顧客獲得の拡大に取り組んでおります。

この結果、株式会社FREEDiVEの当中間連結会計期間における売上高は986,945千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間 連結会計期間 (2026年6月30日)	増減額	増減率 (%)
流動資産	3,044,716	3,038,802	△5,914	△0.2
固定資産	1,367,760	1,374,649	6,888	0.5
資産合計	4,412,476	4,413,451	974	0.0
流動負債	2,025,382	2,036,488	11,105	0.5
固定負債	790,150	666,634	△123,515	△15.6
負債合計	2,815,533	2,703,123	△112,410	△4.0
純資産合計	1,596,943	1,710,328	113,384	7.1
負債・純資産合計	4,412,476	4,413,451	974	0.0

(資産の部)

当中間連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ974千円増加し4,413,451千円となりました。

当中間連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ5,914千円減少し3,038,802千円となりました。これは主に、現金及び預金が181,324千円増加した一方で、売掛金が78,966千円、その他に含まれる短期貸付金が89,975千円減少したためであります。

当中間連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ6,888千円増加し1,374,649千円となりました。これは主に、レンタル資産が33,153千円減少した一方で、FREEDiVE社株式の株式譲渡契約に基づくアーンアウト条項の適用により、のれんが46,553千円増加したためであります。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ112,410千円減少し2,703,123千円となりました。

当中間連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ11,105千円増加し2,036,488千円となりました。これは主に、買掛金が28,674千円、短期借入金が15,000千円減少した一方で、未払法人税等が59,820千円、未払金が16,001千円増加したためであります。

当中間連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ123,515千円減少し666,634千円となりました。これは主に、長期借入金が95,224千円減少したためであります。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ113,384千円増加し、1,710,328千円となりました。これは利益剰余金が113,384千円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、1,864,435千円となりました。

当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは286,647千円の収入となりました。主な減少要因は仕入債務の減少28,674千円、未払金の減少74,643千円、長期未払金の減少26,160千円等、主な増加要因は税金等調整前中間純利益173,998千円、売上債権の減少78,966千円、減価償却費113,483千円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは16,282千円の収入となりました。減少要因は有形固定資産の取得による支出75,058千円、無形固定資産の取得による支出9,561千円、主な増加要因は有形固定資産の売却による収入9,546千円、短期貸付金の回収による収入89,975千円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは121,605千円の支出となりました。減少要因は短期借入金の返済による支出15,000千円、長期借入金の返済による支出106,605千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

（単位：百万円）

	2025年12月期（実績）	2026年12月期（予想）	増減率
売上高	8,348	11,000	31.8%
営業利益	171	430	151.3%
経常利益	172	420	143.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	281	250	△11.1%

※ 上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,683,111	1,864,435
売掛金	1,124,673	1,045,706
商品	104,993	106,400
その他	133,074	23,448
貸倒引当金	△1,135	△1,188
流動資産合計	3,044,716	3,038,802
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	380,986	347,833
その他（純額）	65,230	53,265
有形固定資産合計	446,217	401,099
無形固定資産		
のれん	575,138	621,692
その他	44,511	45,452
無形固定資産合計	619,649	667,144
投資その他の資産		
繰延税金資産	142,993	143,614
長期未収入金	96,944	96,964
その他	158,900	162,790
貸倒引当金	△96,944	△96,964
投資その他の資産合計	301,893	306,404
固定資産合計	1,367,760	1,374,649
資産合計	4,412,476	4,413,451
負債の部		
流動負債		
買掛金	992,613	963,939
短期借入金	25,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	201,893	192,733
未払金	583,625	599,627
未払法人税等	16,200	76,020
その他	206,049	194,167
流動負債合計	2,025,382	2,036,488
固定負債		
長期借入金	714,823	619,599
その他	75,327	47,035
固定負債合計	790,150	666,634
負債合計	2,815,533	2,703,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	933,131	933,131
資本剰余金	872,352	872,352
利益剰余金	△82,871	30,513
自己株式	△127,657	△127,657
株主資本合計	1,594,954	1,708,339
新株予約権	1,988	1,988
純資産合計	1,596,943	1,710,328
負債純資産合計	4,412,476	4,413,451

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,449,550
売上原価	2,731,311
売上総利益	2,718,239
販売費及び一般管理費	2,542,600
営業利益	175,638
営業外収益	
受取利息	506
貸倒引当金戻入額	2,277
雑収入	4,300
その他	1,912
営業外収益合計	8,998
営業外費用	
支払利息	7,755
投資事業組合運用損	886
その他	1,996
営業外費用合計	10,638
経常利益	173,998
税金等調整前中間純利益	173,998
法人税、住民税及び事業税	61,234
法人税等調整額	△621
法人税等合計	60,613
中間純利益	113,384
(内訳)	
親会社株主に帰属する中間純利益	113,384
中間包括利益	113,384
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	113,384

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	173,998
減価償却費	113,483
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	73
のれん償却額	41,446
受取利息及び受取配当金	△506
前受金の増減額 (△は減少)	△24,274
株式報酬費用	4,127
支払利息	7,755
投資事業組合運用損益 (△は益)	886
売上債権の増減額 (△は増加)	78,966
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,027
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28,674
未払金の増減額 (△は減少)	△74,643
長期未払金の増減額 (△は減少)	△26,160
その他	25,533
小計	293,040
利息及び配当金の受取額	702
利息の支払額	△6,927
法人税等の支払額	△2,622
法人税等の還付額	78
その他の収入	2,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	286,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△75,058
有形固定資産の売却による収入	9,546
無形固定資産の取得による支出	△9,561
短期貸付金の回収による収入	89,975
その他	1,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,282
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△15,000
長期借入金の返済による支出	△106,605
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	181,324
現金及び現金同等物の期首残高	1,683,111
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,864,435

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間（自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）

当社グループは、Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当中間連結会計期間より、主力であるWi-Fiサービスを基盤としつつ、今後はグローバルeSIMサービスを成長の中核にする方針を明確化するため、従来「ワイヤレス・ブロードバンド関連事業」としていた報告セグメントの名称を「Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に影響はありません。